

# 財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位: 百万円)

団体名 新発田市

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
13,678	9,077	1,088	23,843

## 1. 一般会計等の財政状況

(単位: 百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	38,043	36,744	1,299	1,025	895	48,431	基金から536百万円繰入
土地取得事業特別会計	80	80	0	0	-	-	
公共用地先行取得事業特別会計	7	7	0	0	-	7	
コミュニティバス事業特別会計	79	79	0	0	57	-	
一般会計等	38,122	36,823	1,299	1,025		48,438	

## 2. 公営企業会計等の財政状況

(単位: 百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業会計	1,878	1,847	31	663	159	9,140	37	法適用企業
国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	(歳入) 10,071	(歳出) 9,715	(形式収支) 356	356	1,087	170	-	基金から489百万円繰入
国民健康保険事業特別会計(施設勘定)	(歳入) 60	(歳出) 57	(形式収支) 3	3	25	-	-	基金から25百万円繰入
老人保健特別会計	(歳入) 8,533	(歳出) 8,468	(形式収支) 65	65	853	-	-	
介護保険事業特別会計	(歳入) 6,216	(歳出) 6,155	(形式収支) 61	61	904	-	-	
簡易水道事業特別会計	(歳入) 225	(歳出) 225	(形式収支) 0	0	40	339	247	
農業集落排水事業特別会計	(歳入) 983	(歳出) 982	(形式収支) 1	0	235	6,842	3,558	基金から25百万円繰入
下水道事業特別会計	(歳入) 5,075	(歳出) 5,029	(形式収支) 46	1	571	25,168	10,973	基金から9百万円繰入
宅地造成事業特別会計	(歳入) 269	(歳出) 407	(形式収支) 139	38	-	-	-	
西部工業団地造成事業特別会計	(歳入) 427	(歳出) 2,026	(形式収支) 1,599	560	-	-	-	
駐車場事業特別会計	(歳入) 27	(歳出) 27	(形式収支) 0	0	23	-	-	
公営企業会計等 計				628		41,660	14,815	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。  
 2. 法適用企業に係るもの以外については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。  
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数( - )で表示している。  
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

## 3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位: 百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
<b>新潟県市町村総合事務組合</b>								
一般会計	(歳入) 368	(歳出) 316	(形式収支) 52	52	86	-	-	
職員退職手当支給事業特別会計	(歳入) 9,722	(歳出) 9,222	(形式収支) 500	500	-	-	-	
消防団員等公務災害補償等事業特別会計	(歳入) 1,725	(歳出) 1,682	(形式収支) 43	43	-	-	-	
消防費じゅつ金等支給事業特別会計	(歳入) 30	(歳出) 28	(形式収支) 1	1	-	-	-	
非常勤職員公務災害補償等事業特別会計	(歳入) 21	(歳出) 16	(形式収支) 5	5	-	-	-	
交通災害共済事業特別会計	(歳入) 1,508	(歳出) 1,435	(形式収支) 74	74	-	-	-	
<b>新潟県後期高齢者医療広域連合</b>								
一般会計	(歳入) 1,999	(歳出) 1,896	(形式収支) 103	103	-	-	-	
<b>新発田地域広域事務組合</b>								
一般会計	(歳入) 1,969	(歳出) 1,858	(形式収支) 111	111	-	180	4	
ふるさと市町村圏事業特別会計	(歳入) 30	(歳出) 6	(形式収支) 23	23	-	-	-	
まちづくり事業特別会計	(歳入) 37	(歳出) 36	(形式収支) 2	2	-	-	-	
ごみ処理事業特別会計	(歳入) 1,779	(歳出) 1,649	(形式収支) 131	131	-	4,250	2,741	
し尿処理事業特別会計	(歳入) 576	(歳出) 546	(形式収支) 30	30	-	493	225	
介護保険事業特別会計	(歳入) 42	(歳出) 39	(形式収支) 4	4	-	-	-	
<b>新発田地域老人福祉保健事務組合</b>								
一般会計	(歳入) 533	(歳出) 460	(形式収支) 73	73	-	1,289	15	
保健施設特別会計	(歳入) 133	(歳出) 101	(形式収支) 31	31	-	-	-	
<b>下越障害福祉事務組合</b>								
一般会計	(歳入) 842	(歳出) 770	(形式収支) 72	72	-	804	351	
<b>下越清掃センター組合</b>								
一般会計	(歳入) 343	(歳出) 332	(形式収支) 12	12	101	683	304	基金から101百万円繰入
<b>新潟東港地域水道用水供給企業団</b>								
水道用水供給事業会計	943	726	217	1,096	200	2,371	128	法適用企業
一部事務組合等 計				2,362		10,069	3,769	

#### 4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
(財)新発田市勤労福祉サービスセンター	2	120	30	13	-	-	-	-	
(財)新発田市まちづくり振興公社	10	114	62	-	-	-	-	-	
(財)路谷虹児記念事業団	1	42	10	-	-	-	-	-	
(株)月岡開発	1	6	5	-	-	-	-	-	
(株)エフエムしばた	5	63	49	-	-	-	-	-	
下越土地開発公社	4	57	6	-	-	141	-	419	
(株)紫雲寺記念館	4	54	12	-	-	-	-	-	
紫雲寺風力発電(株)	1	64	5	-	-	-	-	-	
地方公社・第三セクター等計			180	13	-	141	-	419	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

#### 5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		2,200	
減債基金		247	
その他充当可能基金		4,449	
充当可能基金計		6,897	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

#### 6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	5.33	4.29	1.04	12.16	20.00	水道事業会計		36.1	
連結実質赤字比率		6.93		17.16	40.00	簡易水道事業特別会計		-	
実質公債費比率	12.1	11.5	0.6	25.0	35.0	農業集落排水事業特別会計		0.0	
将来負担比率		46.2		350.0		下水道事業特別会計		0.1	
財政力指数	0.550	0.565	0.015			宅地造成事業特別会計		21.5	
経常収支比率	86.5	87.9	1.4			西部工業団地造成事業特別会計		35.0	

(注) 1. 「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」・「資金不足比率」は負数( - )で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。

2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。